

## 平成28年4月分の秋田空港利用状況について

### 1. 概要

平成28年4月の秋田空港の利用者数は、89,737人（搭乗率65.4%）で前年同月より3,481人増加し、前年同月比104.0%であった。

なお、国際便のソウル仁川線は、昨年12月3日から本年10月29日まで運休している。

### 2. 路線別の動向

#### ①東京羽田線

利用者数は、63,489人（搭乗率69.3%）で前年同月より3,307人増加し、前年同月比105.5%であった。個人や団体の旅行利用が低調であったものの、一部の便のダイヤ改正により利便性が高まったことにより、前年同月を上回った。

#### ②名古屋中部線

利用者数は、5,082人（搭乗率57.7%）で前年同月より290人増加し、前年同月比106.1%であった。利用の安定化傾向に大きな変化はなく、旅行の利用が堅調に推移したことにより、前年同月を上回る結果となった。

#### ③札幌千歳線

利用者数は、7,290人（搭乗率49.5%）で前年同月より891人増加し、前年同月比113.9%であった。個人や団体の旅行利用の動きが良かったことにより、前年同月を上回る結果となった。

#### ④大阪伊丹線

利用者数は、13,876人（搭乗率62.7%）で前年同月より1,080人増加し、前年同月比108.4%であった。夜間駐機などによるダイヤの利便性の良さがビジネス利用者に受け入れられていることや、団体旅行の利用が順調に推移していることなどにより、前年同月を上回った。

### 3. 貨物の動向

貨物の取扱数量は、入荷数量が56.5t、出荷数量が32.8t、合計で89.3tであった。前年同月より、入荷数量では14.4t、出荷数量では18.5t、合計では32.9tそれぞれ減少した。入荷の主な品目は工業製品や精密機器などで、出荷の主な品目は工業製

品や弁当などの食品類ほかであった。

#### 4. チャーター便の動向

4月は、国際チャーター便が、秋田－台北間の14便で、国内チャーター便は無かった。  
利用者数は2,153人（搭乗率89.0%）であった。

